

1 入学定員の設定と定員充足の見込み（概要）

(1) 工学部及び環境理工学部各学科の現状

今回の改組の対象となる工学部及び環境理工学部の各学科の現在の入学定員，志願者数の状況は，下表のとおりである。（推薦，前期日程，後期日程等のすべての入試の合計値）

表 1-1 工学部及び環境理工学部の入学定員及び志願者数の推移

学部名	学科名	入学定員	志願者数				
			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
工学部	機械システム系学科	160	429	340	352	365	365
	電気通信系学科	100	230	231	233	218	209
	情報系学科	60	187	142	157	230	187
	化学生命系学科	140	406	374	378	322	302
	計	460	1,252	1,087	1,120	1,135	1,063
環境理工学部	環境数理学科	20	46	64	54	41	39
	環境デザイン工学科	50	172	149	129	143	147
	環境管理工学科	40	134	104	90	86	83
	環境物質工学科	40	101	102	63	79	70
	計	150	453	419	336	349	339
合計		610	1,705	1,506	1,456	1,484	1,402

表 1-2 工学部及び環境理工学部の志願倍率の推移

学部名	学科名	入学定員	志願倍率				
			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
工学部	機械システム系学科	160	2.68	2.13	2.20	2.28	2.28
	電気通信系学科	100	2.30	2.31	2.33	2.18	2.09
	情報系学科	60	3.12	2.37	2.62	3.83	3.12
	化学生命系学科	140	2.90	2.67	2.70	2.30	2.16
	平均	460	2.72	2.36	2.43	2.47	2.31
環境理工学部	環境数理学科	20	2.30	3.20	2.70	2.05	1.95
	環境デザイン工学科	50	3.44	2.98	2.58	2.86	2.94
	環境管理工学科	40	3.35	2.60	2.25	2.15	2.08
	環境物質工学科	40	2.53	2.55	1.58	1.98	1.75
	平均	150	3.02	2.79	2.24	2.33	2.26
平均		610	2.80	2.47	2.39	2.43	2.30

志願倍率は，全学科の平均ではすべての年度において2.3倍を超えており，概ね問題なく志願者を確保できているが，学科によっては2倍を切る年度が存在しており，受験生が魅力を感じる工学系教育の充実や，入試単位の大括り化を進める。

また，入学者数については，下表のとおり過去5年間はずべての年度において入学定員

を充足している。

表 1-3 工学部及び環境理工学部の入学者数の推移

学部名	学科名	入学定員	入学者数				
			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
工学部	機械システム系学科	160	165	165	164	164	168
	電気通信系学科	100	108	105	105	106	104
	情報系学科	60	61	60	62	64	61
	化学生命系学科	140	145	145	143	144	149
	計	460	479	475	474	478	482
環境理工学部	環境数理学科	20	22	22	20	20	21
	環境デザイン工学科	50	51	53	54	53	54
	環境管理工学科	40	41	43	40	41	42
	環境物質工学科	40	41	42	44	44	42
	計	150	155	160	158	158	159
合計		610	634	635	632	636	641

工学部及び環境理工学部の卒業後の進路の状況は表 2-1 及び表 2-2 のとおりである。

表 2-1 工学部卒業生の進路状況

卒業年度	卒業 者数	進学 希望者数	就職 希望者数	就職 決定者数	就職 未定者数	就職率 ※	卒業後 未定者数
2015年度	481	323	149	146	3	98.0%	9
2016年度	528	340	164	162	2	98.8%	24
2017年度	479	327	141	140	1	99.3%	11
2018年度	522	363	147	141	6	95.9%	12
2019年度	474	326	147	144	3	98.0%	1
合計	2,484	1,679	748	733	15	98.0%	57

表 2-2 環境理工学部卒業生の進路状況

卒業年度	卒業 者数	進学 希望者数	就職 希望者数	就職 決定者数	就職 未定者数	就職率 ※	卒業後 未定者数
2015年度	151	69	80	77	3	96.3%	2
2016年度	153	76	76	74	2	97.4%	1
2017年度	146	74	70	69	1	98.6%	2
2018年度	149	59	89	89	0	100.0%	1
2019年度	147	55	89	88	1	98.9%	3
合計	746	333	404	397	7	98.3%	9


※就職率＝就職決定者数／就職希望者数

工学部及び環境理工学部とも、過去5年間の就職率（就職決定者数÷就職希望者数）は平均して98%程度と就職希望者のほぼ全員が就職できている。また、工学部では60%～70%が大学院に進学する一方、環境理工学部では大学院進学者では大学院進学者は40%台に止まり、公務員就職者が多い（209人（卒業生全体の約3割、就職希望者の半数以上））のが特長となっている。

(2) 入学定員設定の考え方

上記の志願倍率や就職・進学状況に鑑み、今回の改組では新工学部に設置する工学科の入学定員は現工学部（460人）及び環境理工学部（150人）の計と同数の610人とする。

表 3-1 入学定員の移行

工学部 (現)	機械システム系学科	160		610	工学科	工学部 (新)
	電気通信系学科	100				
	情報系学科	60				
	化学生命系学科	140				
	計	460				
環境理 工学部	環境数理学科	20				
	環境デザイン工学科	50				
	環境管理工学科	40				
	環境物質工学科	40				
	計	150				

入試は基本的に「系」を募集単位として行い、表 3-2 のとおり系ごとに標準とする募集人員を設定する。この標準募集人員は、従来の学科からの入学定員の移行に止まらず、今回の改組の趣旨を踏まえて化学・生命系から情報・電気・数理データサイエンス系に10人を移行する。また、入学定員が設定される「学科」とはせず、専任教員数や施設・設備の収容能力の範囲で柔軟に運用する。

表 3-2 新工学部の各系の標準募集人員数

工学部 (新)	工学科	機械システム系	160
		環境・社会基盤系	90
		情報・電気・数理データサイエンス系	190
		化学・生命系	170
		計	610

(3) 3年次編入学の入学定員の設定と定員充足の見込み

今回の改組の対象となる工学部における第3年次編入学試験の現在の入学定員、志願者数の状況は、表4-1・表4-2のとおりである。（すべての選抜方法の合計値）

表4-1 工学部の第3年次編入学試験における入学定員及び志願者数の推移

学部名	入学定員	志願者数				
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
工学部	30	140	145	147	144	128

表4-2 工学部の第3年次編入学試験における志願倍率の推移

学部名	入学定員	志願倍率				
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
工学部	30	4.67	4.83	4.90	4.80	4.27

志願倍率は、すべての年度において4.2倍を超えており、問題なく出願者を確保できている。

また、入学者数については、表4-3のとおり年度によっては想定よりも入学辞退者が多くなり定員を下回ったこともあるが、概ね問題なく入学定員に近い入学者数を確保できている。

表4-3 工学部の第3年次編入学試験における入学者数の推移

学部名	入学定員	入学者数				
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
工学部	30	29	29	30	33	36

就職率については、表2-1 工学部卒業生の進路状況に含まれているため、特段の問題はない。

以上のとおり、志願倍率や就職率等を勘案すると、引き続き入学定員を充足することは可能であると判断する。

2 定員充足の根拠となる調査結果の概要

今回の改組については、令和元年8月の「岡山大学オープンキャンパス」時に来学者に対して、また、10月には高等学校等及び企業、公共団体等にアンケートを実施した。

(1) オープンキャンパス時のアンケート

オープンキャンパス時のアンケートは、工学部・環境理工学部の再編計画について報道発表した直後であったため、アンケート本体（資料1-1）に再編計画の概要（資料1-2）を添えて実施した。高校生を中心に、高校教員や保護者を含めた工学部及び環境理工学部のオープンキャンパス参加者4,733人のうち、1,752人から回答が得られた（有効回答1,642件）。集計結果は資料1-3のとおりである。

『中四国最大規模の新生「工学部」に魅力を感じるか?』という設問については「非常

に感じる」と「感じる」を合わせると 93.1%，『「新生”工学部”での学び」を魅力的だと思えますか？』という設問については「思う」と「少し思う」を合わせると 95.1% が肯定的な回答をしており，新生「工学部」に対する期待感が窺える。

また，改組後に設置する 4 つの募集単位のうちのどの「系」を希望するかについては，第 1 志望で 38.4%，第 2 志望でも 27.6% が情報・電気・数理データサイエンス系を選択し，今回の改組の目玉となる「数理データサイエンス」に対する注目度の高さが見える結果となっている。

(2) 高等学校等に対するアンケート

高等学校等に対するアンケートは，過去 5 年間に工学部・環境理工学部への進学者が 3 人以上いる高等学校，中等教育学校，高等専門学校等 231 校の進路指導担当者に対して資料 2-1 により実施し，うち 59 校から回答があった。

アンケート結果の詳細は資料 2-2 にまとめているが，『新生「工学部」での学びは魅力的であるか』，『新生「工学部」は進学先候補として魅力的であるか』の設問に対しては，ほぼすべての学校が肯定的に捉えていることがわかった。また，改組後の「系」についてもオープンキャンパスと同様に情報・電気・数理データサイエンス系に魅力を感じるとする回答が多かった。

(3) 企業等に対するアンケート

企業，公共団体等に対するアンケートは，過去 5 年間に工学部・環境理工学部からの就職者が 3 人以上いる企業・公共団体等 323 社／団体の採用担当者に対して資料 2-3 により実施し，うち 63 社／団体から回答があった。

アンケート結果の詳細は資料 2-4 にまとめているが，『新生「工学部」での学びは魅力的であるか』と『新生「工学部」は進学先候補として魅力的であるか』の設問に対しては，すべての企業／団体が採用したい又は採用を検討したいと回答しており，新生工学部の教育への期待や育成された人材への需要が示された。

岡山大学工学部及び環境理工学部の改組計画に関するアンケート

工学部・環境理工学部の改組計画についてお尋ねします。
(工学部のオープンキャンパスに参加し、改組計画のアンケートに回答した場合は回答不要です。)

岡山大学では、幅広い視野をもち、社会課題を発見・解決できる創造的な工学系人材の育成を目指し、工学部と環境理工学部を再編統合して、新たな「工学部」を令和3年(2021年)4月に開設する計画で検討を行っています。

新生「工学部」は、「Society5.0 for SDGs の実践的教育」を特色としながら、数理データサイエンスのプロフェッショナル育成や、これまで本学になかった建築系の教育プログラムなどを盛り込んだ、入学定員610名の中四国地方最大規模の工学系学部となる予定です。お配りしたチラシをお読みいただいた上で、以下の質問にお答えください。(a~hに○をして下さい。)

1. 該当するものを選択してください。【必須回答】
a.小学生 b.中学生 c.高校生 d.高等専門学校生 e.大学生 f.保護者 g.教員 h.その他

2. 学年を選択してください。
a.1年生 b.2年生 c.3年生 d.4年生 e.5年生 f.6年生

3. 学校名をご回答ください。 _____

4. 性別を選択してください。【必須回答】 a.男性 b.女性

5. 中四国最大規模の新生「工学部」に魅力を感じますか？
a. 非常に感じる
b. 感じる
c. あまり感じない
d. まったく感じない

6. Socitey5.0を知っていましたか？
a. 知っている
b. 少し知っている
c. あまり知らない
d. まったく知らない

7. SDGsを知っていましたか？
a. 知っている
b. 少し知っている
c. あまり知らない
d. まったく知らない

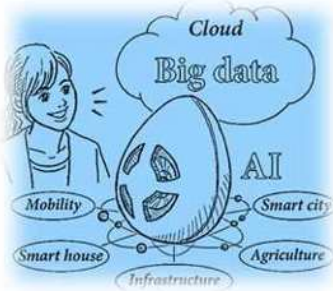
2021年4月 岡山大学に中四国最大規模の 新生「工学部」設置を計画中

Society5.0 for SDGs

の実践的教育を行います

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

Society5.0



近未来における「人間中心の革新技術」を
試行錯誤して創造する学び

新生
工学部
定員610名(予定)

変化の激しい時代に向かって
幅広い視野を育む学び



世界共通の社会課題に気づき、
解決していく実践からの学び

再編統合

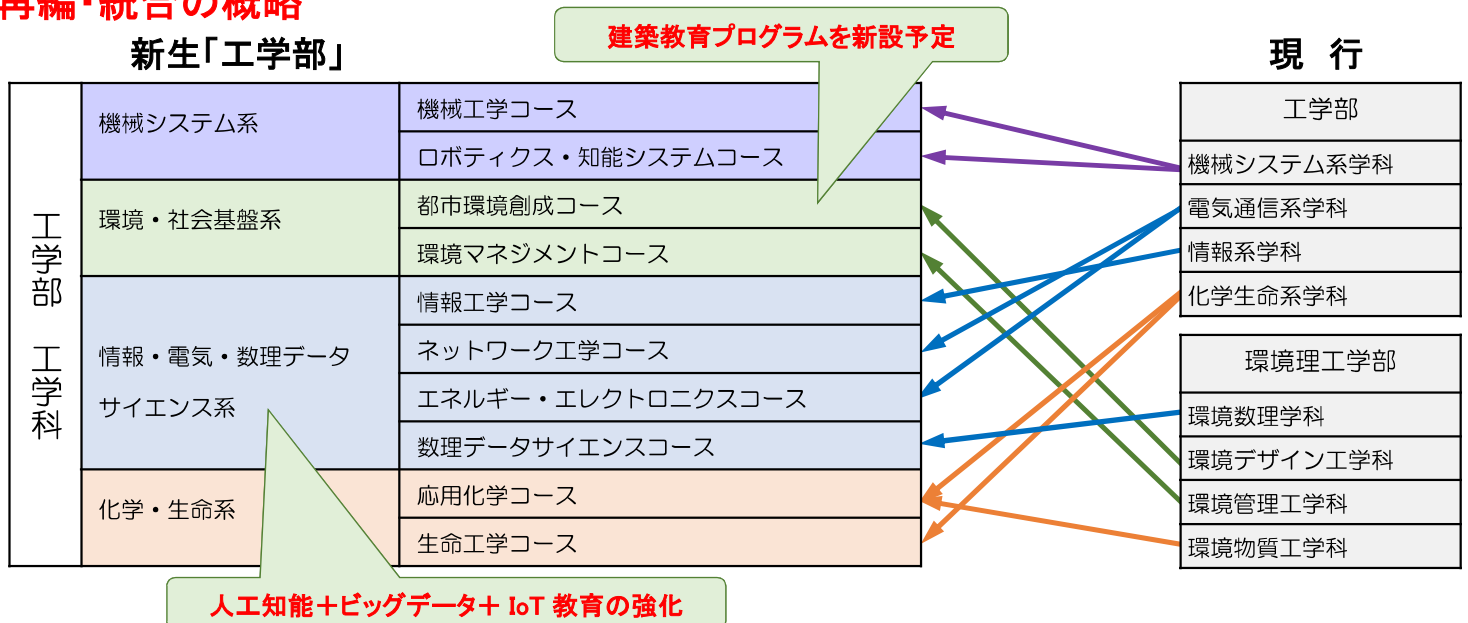
社会基盤を支える専門技術の教育研究の実績

工学部

人類社会の持続可能性の教育研究の実績

環境理工学部

再編・統合の概略



新生「工学部」教育の特徴

- Society5.0に関わる領域を広くカバーする教育体制
- 「SDGs関連科目」と「数理データサイエンス科目」は、工学部全員が学ぶ
- 都市環境創成コースに、建築教育プログラムを新設
- 情報・電気・数理データサイエンス系は、Society5.0 実現に直結するコース
- 数理データサイエンスコースは、データサイエンスのプロを養成

上記の内容は予定であり、変更する場合があります。

● Society5.0とは？

狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、「超スマート社会」「創造社会」とも言われる第5の新たな経済社会のこと。我が国は、**デジタル革新、イノベーション**を最大限活用して、誰もが快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる人間中心の社会「Society5.0」を実現しようとしています。

● SDGsとは？

2015年に国連が提唱した世界共通の目標で、地球環境と人類社会の持続可能性を追求し、「誰一人取り残さない」未来のあるべき姿を目指しています。2030年を目指した17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

● Society5.0 for SDGsとは？

Society5.0の実現によって、SDGsの課題を解決しようとする考え方です。

● 新生“工学部”での学び

私たちは、**デジタル革新、イノベーション**には、次の3つが重要であると考え、新生“工学部”ではそのための教育を強化します。

① 変化の激しい時代に向かって、幅広い視野を育む学び

新生“工学部”では、工学分野の広い領域に加えて環境学も含めて、基礎的知識技術を幅広く学ぶことができます。また、文理横断の教科も準備して、変化の激しい時代にも対応できる力を身につけます。

② 世界共通の社会課題に気づき、解決していく実践からの学び

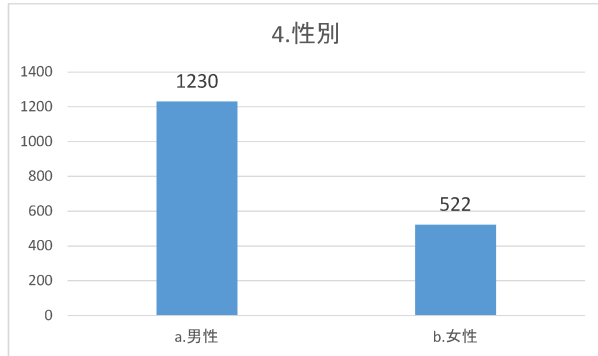
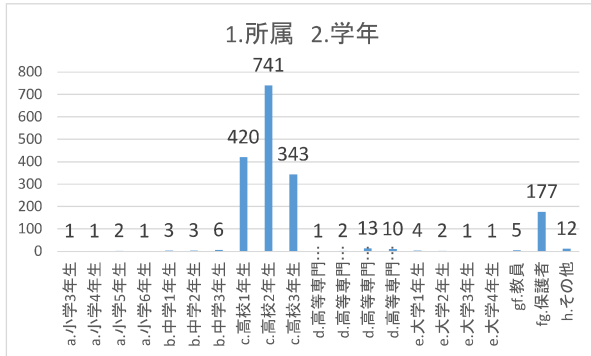
SDGs関連科目では、世界共通の社会課題に気づき、具体的に地域のフィールドで様々な取組に参画して学びます。また、短期、中期の海外研修を強化します。在学中の様々なチャレンジが、皆さんに自信と多様な価値観を育ててくれます。

③ 「人間中心の革新技術」を試行錯誤して創造する学び

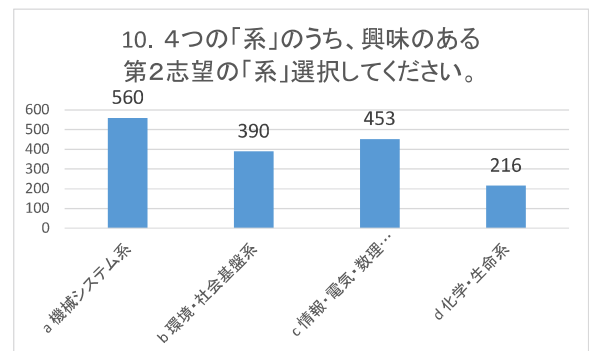
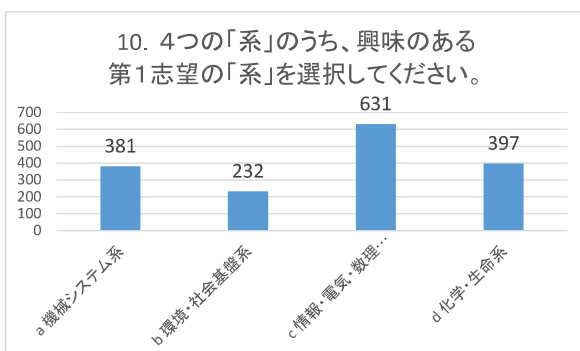
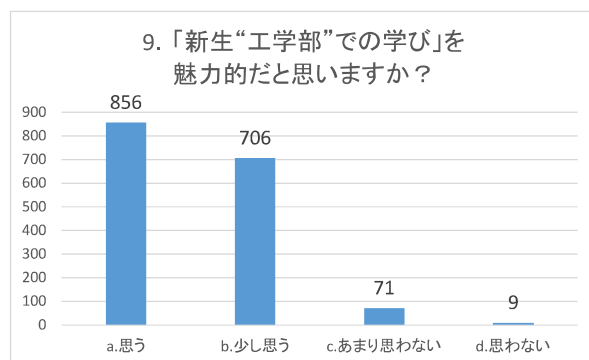
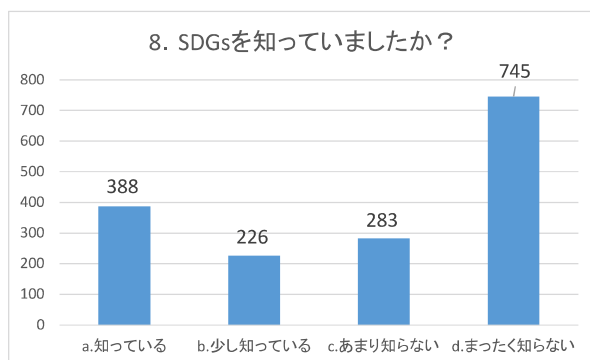
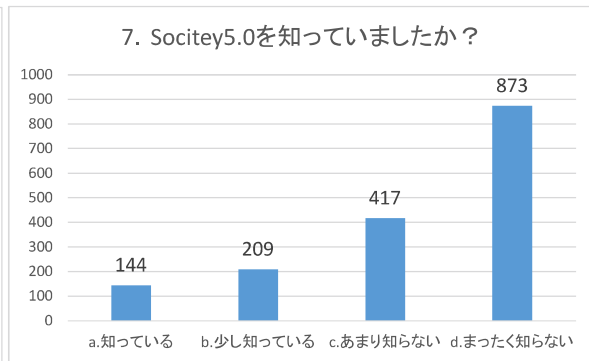
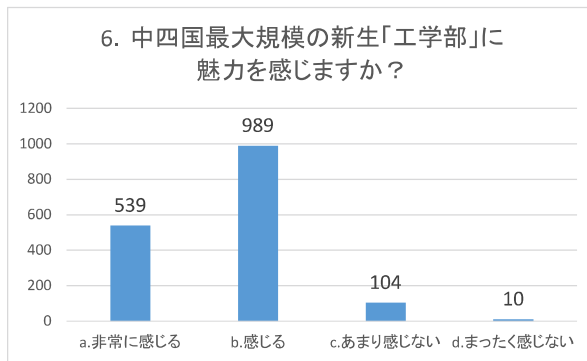
Society5.0の実現を目指す「人間中心の革新技術」に必要な最新の教育内容を準備するだけでなく、産業界と連携した実践的教育(Project-Based Learning)を充実します。試行錯誤の中で、創造する喜びを体験しましょう。

【工学部・環境理工学部】 2019年オープンキャンパス アンケート集計結果 (WEB・紙回答)

基本情報の入力



工学部・環境理工学部の改組計画について



岡山大学工学部・環境理工学部の統合再編に係るアンケート

(高等学校等進路指導担当者用)

以下の設問について、皆様の率直なご意見をお伺いさせていただきます。なお、アンケート項目には、ご回答を記述いただくもの、該当する番号を1つのみ選択いただくものがございます。恐れ入りますが、注意しながらご回答ください。

質問 1. 貴校名（例：〇〇県立〇〇高等学校）をご記入ください。

[]

質問 2. 貴校の生徒における Society5.0 の認知度はどの程度かと思われますか？

- a. ほとんどの生徒が知っている b. 半分程度の生徒は知っている
c. 1/4 程度の生徒は知っている d. ほとんどの生徒は知らない

質問 3. 貴校の生徒における SDGs の認知度はどの程度かと思われますか？

- a. ほとんどの生徒が知っている b. 半分程度の生徒は知っている
c. 1/4 程度の生徒は知っている d. ほとんどの生徒は知らない

質問 4. 情報系や数理系など工学系諸分野の連携を図ることで、科学技術とイノベーションを担う人材を育成し、SDGs への更なる貢献を目指す新生「工学部」について、必要性を感じますか。

- a. 必要性を感じる b. ある程度必要性を感じる
c. あまり必要性を感じない d. まったく必要性を感じない

質問 5. 貴校の生徒にとって新生「工学部」での学びは魅力的だと思いますか？

- a. 思う b. 少し思う c. あまり思わない d. 思わない

質問 6. 貴校の生徒にとって新生「工学部」は進学先候補として魅力的だと思いますか？

- a. 思う b. 少し思う c. あまり思わない d. 思わない

上記質問 6 で「a」又は「b」と回答した方は以下の質問 7 に回答をお願いします。「c」又は「d」と回答された方は質問 8 にお進みください。

質問 7. 質問 6 で「a」又は「b」と回答いただいた方で、特に魅力を感じる「系」を、以下からそれぞれ 1 つ選択してください。

最も魅力を感じる系：

- a. 機械システム系 b. 環境・社会基盤系
c. 情報・電気・数理データサイエンス系 d. 化学・生命系

2 番目に魅力を感じる系：

- a. 機械システム系 b. 環境・社会基盤系
c. 情報・電気・数理データサイエンス系 d. 化学・生命系

質問 8. その他ご意見がありましたら、お聞かせください。

[]

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

高等学校等進路指導担当者に対するアンケート結果

1. 貴校名（例：〇〇県立〇〇高等学校）をご記入ください。

区分	件数
高等学校	48
高等専門学校	10
中等教育学校	1
合計	59

2. 貴校の生徒におけるSociety5.0の認知度はどの程度かと思われますか。

選択肢	件数
a. ほとんどの生徒が知っている	4
b. 半分程度の生徒は知っている	7
c. 1/4程度の生徒は知っている	12
d. ほとんどの生徒は知らない	36
合計	59

3. 貴校の生徒におけるSDGsの認知度はどの程度かと思われますか。

選択肢	件数
a. ほとんどの生徒が知っている	12
b. 半分程度の生徒は知っている	7
c. 1/4程度の生徒は知っている	19
d. ほとんどの生徒は知らない	21
合計	59

4. 情報系や数理系など工学系諸分野の連携を図ることで、科学技術とイノベーションを担う人材を育成し、SDGsへの更なる貢献を目指す新生「工学部」について、必要性を感じますか。

選択肢	件数
a. 必要性を感じる	36
b. ある程度必要性を感じる	20
c. あまり必要性を感じない	3
合計	59

5. 貴校の生徒にとって新生「工学部」での学びは魅力的だと思いますか。

選択肢	件数
a. 思う	40
b. 少し思う	18
c. あまり思わない	1
合計	59

6. 貴校の生徒にとって新生「工学部」は進学先候補として魅力的だと思いますか。

選択肢	件数
a. 思う	43
b. 少し思う	15
c. あまり思わない	1
合計	59

7-1. 前問で「a」又は「b」と回答いただいた方で、最も魅力を感じる「系」を、以下から1つ選択してください。

選択肢	件数
a. 機械システム系	6
b. 環境・社会基盤系	15
c. 情報・電気・数理データサイエンス系	35
d. 化学・生命系	2
合計	58

7-2. 2番目に魅力を感じる「系」を、以下から1つ選択してください。

選択肢	件数
a. 機械システム系	15
b. 環境・社会基盤系	17
c. 情報・電気・数理データサイエンス系	15
d. 化学・生命系	11
合計	58

8. その他ご意見がありましたら、お聞かせください。

- ・ 個人的に再編統合工学部は良いと感じています。院進学率を上げてプロフェッショナルの育成に励んでほしいです。
- ・ 理学部との住み分けや、実際の受験科目など、できるだけ早い情報提供をお願いいたします
- ・ 総合型選抜や学校推薦型選抜入試がどのような形式になるのか（工学部に近いのか環境理工学部に近いのか）の検討状況が知りたいです。岡山大学で建築士がとれるコースができることはとてもよいと思います。
- ・ 時代に合わせて変化することが重要だと思う。オープンキャンパス以外にも、地方の高校生が岡山大学を知る機会が増えればいいと思います。HPでの工学部の紹介動画などは参考になります。
- ・ 工学部と環境理工学部とでは入試配点が違っていますが、統一する場合、どちらの配点で考えられているでしょうか。
- ・ 貴学の新しく崇高な教育目標に対し、受験を希望する生徒たちや指導する教員の意識がついていけない、よく分からないというのが実情です。学科内の具体がどう変わるのかが情報として一番早く知りたいというのが本音のところですが、改組に少なからず不安を感じている生徒や保護者に勤めていくためにも詳細についての早期の公表をお願いいたします。
- ・ 現在の環境数理と同様に、数学の教員免許が取得出来るように、是非お願いします。
- ・ 高専からの3年次編入について、制度の変更などを予定されていたらお知らせください。
- ・ 地方創生への関わり方も積極的に示していただきたい。

4. 両学部の特長を生かし、情報系や数理系など工学系諸分野の連携を図ることで、科学技術とイノベーションを担う人材を育成し、SDGsへの更なる貢献を目指す新しい工学部について、どのようにお考えですか。

- ① 必要性を感じる
- ② ある程度必要性を感じる
- ③ あまり必要性を感じない
- ④ まったく必要性を感じない

5. 第4問であなたがそのようにご回答された理由をお答えください。

6. 新しい工学部の卒業生にどのようなものを期待されますか。当てはまるものすべてを選択してください。

- ① 最新の専門知識
- ② 社会における実践力
- ③ 研究・開発能力
- ④ 国際的な視野
- ⑤ 幅広い知識・教養
- ⑥ 独創性
- ⑦ 組織を率いる指導力・統率力
- ⑧ プレゼンテーション能力
- ⑨ その他 ()

7. 新しい工学部の卒業生を採用する意向がありますか。

- ① 採用したい
- ② 採用を検討したい
- ③ あまり採用したくない
- ④ まったく採用したくない

8. 第7問であなたがそのようにご回答された理由をお答えください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

企業・公共団体等の採用担当者に対するアンケート結果

2. 貴社または貴研究機関の業種と最も近いものをお答えください。

選択肢	件数
①大学等の教育研究機関	0
②高等学校までの学校教育関係 および学習支援業	0
③公的研究機関	0
④製造業	36
⑤医療・福祉関係	0
⑥情報通信業	9
⑦学術研究支援・専門技術サー ビス業	7
⑧金融・保険業・卸売業・小売 業・サービス業	2
⑨その他	9
合計	63

⑨その他

- ・ 総合建設業
- ・ 官公署
- ・ プラントエンジニアリング
- ・ 建設業
- ・ 建設業
- ・ 建設コンサルタント
- ・ 研究開発支援業
- ・ 都市ガスの製造、供給、販売
- ・ 公務

3. 2019 年度は新卒者を何名採用されましたか。実績をお答えください。

また、その内大学院修了者は何名ですか。

(組織全体の採用数が記入できない場合は、関係する部門のみの人数でかまいません。)

[① 2019年度採用新卒者]

選択肢	件数
0名	3
1名	1
2名	3
3名	3
4名	3
5名	1
6名以上	48
未回答	1
合計	63

[② ①の内、大学院修了者]

選択肢	件数
0名	8
1名	9
2名	4
3名	1
4名	4
5名	3
6名以上	33
未回答	1
合計	63

4. 両学部の特長を生かし、情報系や数理系など工学系諸分野の連携を図ることで、科学技術とイノベーションを担う人材を育成し、SDGsへの更なる貢献を目指す新しい工学部について、どのようにお考えですか。

選択肢	件数
①必要性を感じる	39
②ある程度必要性を感じる	23
③あまり必要性を感じない	1
④まったく必要性を感じない	0
合計	63

5. 第4問であなたがそのようにご回答された理由をお答えください。
- ・ 時代の流れ、但し具体的な部分はピンポイントになる可能性高い
 - ・ 課題発見・解決するためにはより広い視野が必要と考えるため。
 - ・ SDGsで挙げられている、目標の一部には貴校の取り組みが有用と思われるため。
 - ・ 製造業でもIoT化が急務と同時に幅広い分野に応用できる人材を必要としているため。
 - ・ 幅広い知識と経験がある方が良いため
 - ・ 土木、建築の専門職においてICT技術の利・活用がますます重要となっているため
 - ・ SDGsの重要性を感じるから
 - ・ 多様な考えの社員を増やし世界的に貢献する為
 - ・ 超スマート社会においては必要な分野であるため。
 - ・ 弊社としてもコア事業に加え新事業を推進する中、幅広い工学領域に知見のある人材を必要とすると共に、会社としてSDGsを推進する中、工学的なアプローチも必要と考えるため。
 - ・ 環境と工学(土木)は密接不可分な分野と考えている。
 - ・ 貴学が計画されている新生工学部はこれからの社会に不可欠なものであると思います。
 - ・ AIの技術者不足が懸念
 - ・ デジタル革新、イノベーションは今後の社会の基盤となる事柄であるため、そのための人材を育成する学部には必要性を感じます。
 - ・ 1分野限定では対応できない事業が増えているから
 - ・ 情報系は今後も発展が見込まれるため
 - ・ 情報、数理系人材の連携を図り、IT人材の育成、充実を図る必要があると感じています。
 - ・ イノベーションを起こす人材の育成は急務だと考えているため。
 - ・ 複雑化し、変化の激しい現代において、広い領域をカバーできる人材が必要であると考えられるため。
 - ・ IT新技術を利用したビジネスには必要不可欠なため
 - ・ 開発強化領域であり、積極的に採用しているため。

- 当社でも今年10月に、“AX” : Architectural design EXperience (アーキテクトのデザイン体験) をより良くするためのプロダクトを作るチームを新設いたしました。
 - アーキテクチュラル・ビジュアルライゼーション全般
 - コンピューテーショナルデザイン
 - 機械学習プログラム開発
 - IoTプログラム開発
 - VR/ARアプリケーション開発
 - AEエフェクトデザイン
 等に興味を持ってくださる学生の方を今後募集を行ってまいります。
- 時代の変化に対応し、自身で考える力を養うため。
- 企業としても取り組んでいるため。
- 早くから先進技術や世界の課題に触れることで、幅広い知識や多様な考え方が身につく、これからの社会をリードしていける人材が育つことが期待できるため。
- 世の中の変化に対応できるような、多様な背景知識を持つ人材のニーズが高まってきているため。
- 横断的な知識なくして新しい技術開発ができなくなっているため。
- 時代の経過とともに、環境だけではなく様々な分野で、サステナブルな方向へシフトする必要性が高まっていると考えているため。
- 連携を図ることで幅広い分野を学ぶ事ができ、貢献できると思うからです。
- イノベーションは色々な技術を如何に組み合わせるかで生まれると考えるため。
- SDGsが人類の課題解決の鍵となると認識している。
- 実際に余程の大企業で無い限り民間企業で仕事をする上で、専門分野の枠内だけで収まる事はまずもってないため。
- I o t などの分野が業界でも進みつつあり時代に沿った形の学部創成は良いと思います。
- 社会の仕組みが急激に変化する中で、その流れに対応できる基礎知識が必要となると考えたため
- これらからの最先端技術を担う人材が必要と思われるため
- 柔軟な創造性やコミュニケーション能力兼ね備えた人材を期待出来るから。
- 今後の科学技術の進化に対する融通性保持と少子化に伴う優秀な学生の確保及び効率的、効果的な学習の実施を図るため。
- 変化が激しい時代の中、社会では求められることが多様化しています。その中でも年々情報技術等が進歩しており、最新の情報技術と専門知識を用いた課題解決能力が求められています。そのため、工学系と情報系や数理系等と連携を図ることでより実践的な分野を学ぶことが出来ると考えております。
- 昨今の情勢から、弊社としてもSDGsを意識した取組みが必要になってくると考えているため。
- 学部内の学問領域に留まらず多岐に渡る分野への幅広い知識が必要とされているため。
- 人類が豊かで幸せな社会を築いていくためには、従来にはない新しい発想が必要でありそのためには専門以外の知識・経験を積んでおく必要があると思う。
- 幅広い知識を養う事が期待できるため

6. 新しい工学部の卒業生にどのようなものを期待されますか。

当てはまるものすべてを選択してください。

選択肢	件数
①最新の専門知識	40
②社会における実践力	45
③研究・開発能力	31
④国際的な視野	31

⑨その他

- キャリアビジョン
- 協調性、問題解決力

⑤幅広い知識・教養	43
⑥独創性	33
⑦組織を率いる指導力・統率力	29
⑧プレゼンテーション能力	18
⑨その他	2
合計	272

7. 新しい工学部の卒業生を 採用する意向がありますか。

選択肢	件数
①採用したい	52
②採用を検討したい	11
③あまり採用したくない	0
④まったく採用したくない	0
合計	63

8. 第7問であなたがそのようにご回答された理由をお答えください。

- ・ 常に新しい知識・経験をもった人材は必要
- ・ 広い視野で学んだ優秀学生を採用したいため。
- ・ 弊社の化学工業という部門ではあまりニーズのない人材であるが、SDGsは企業としての取り組みが必須という考えの下であれば、採用を検討する価値は見出せると考えられる。
- ・ 専門分野に限らず、多岐にわたる教養・知識に富んだ人材となり得る学部であるため
- ・ OB/OGの方が活躍されているため
- ・ ICT技術の素養を持った土木・建築専門職を必要としているため
- ・ 技術者として活躍できる人材であれば採用したいと考えているから
- ・ 多様な考えの社員を増やし世界的に貢献する為
- ・ これからの当社に必要な人材であると考えているため。
- ・ 会社実務でのニーズに加え、人材のダイバーシティー化を図る上でも有用と考えるため。
- ・ 新しい視点で活躍して頂きたい。
- ・ 当社は化学工業であるため、化学・生命系の採用が中心となりますが、SDGs関連の知識・教養があり、海外研修を経験している人材は魅力的であり、是非採用したいと思っております。
- ・ 優秀な学生を採用したい
- ・ これまでも貴大学の工学部および環境理工学部卒の学生を採用しており、非常に優秀であると感じているため引き続き採用したいと考えています。とくに新設予定の建築系教育プログラムを履修した学生を採用したいと考えております。
- ・ 岡山本店の企業であり、岡山大学の卒業生が多く活躍しているため
- ・ 最新の知識と実践力を兼ね備えたバランスの取れた優秀な学生が期待できるため。
- ・ 今後の社会で必要となる専門性&素養を身につけている人材を採用したいと考えているため
- ・ 多くの学生が当社の求める人物像と一致すると考えるため。
- ・ 大学で身につけた知識を活用して当社で活躍いただきたいので
- ・ 情報系の学生は強化ポイントの一つであるため。

- 当社が従来採用を行ってまいりました建築学科の卒業生以外の方にもご興味をもっていたきたいと存じます。
- 時代の変化に対応し、組織に良い影響を及ぼすため。
- 即戦力として活躍できるだけではなく、新しいアイデアや価値をもたらしてくれると期待できるため。
- 既に毎年複数名ご入社頂いていることに加え、更に弊社が求める人材が育つフィールドとなるような期待が持てる組織再編であるため。
- 「持続可能性」という今後の社会のニーズに応えられる人財だと思うため。
- 専門分野だけでなく幅広い分野を学ぶことで視野が広がることで、今まで以上に企業や社会に貢献できると思ったからです。
- データサイエンスやAI、ロボットの知識やそれらをどう形にしていくかを考えられる人財を採用して行きたいため
- 特に新設の建築系コースの卒業生に期待しています。
- 岡山を本拠地として活動する当社にとって、御学は重要な存在であり、今後どれだけ発展してもそれに変わりはないと考えるから。
- 当社のこれからの技術力の向上、成長を担う人財になれると思うから。
- 従来より卒業生には活躍いただいております、問5で回答した通り、今後の企業にとって必要な人材となりうると考えたため
- 新しい分野にチャレンジできる人材だと思われる為
- 貴大学の人材に大きな期待を抱いております。
- これまでの貴学卒業生の貢献度及び最新の知識と能力発揮による弊社の発展に対する期待度が大きいことであるため。
- 最新の情報技術を学び、時代を変えていくことが出来る人材（時代の変化に対応する考え方が多く卒業されることと想定しており、当社としてもそのような方を採用したいと考えております。
- 弊社でも、どちらの知識知見を持ったうえで、各自の専門分野を極める技術者を育成したいと考えているから。
- 他大学の工学部出身者と比べて応用分野を広く持つ学生を採用できる可能性を感じたため。
- 当社は設計会社であるため、客先要望に対して様々な視点から課題の掘り起こし、課題解決を行ない、そして要望+ α の提案を行う必要があるため、専門以外に幅広い視野を持つ人材が望ましいため
- 6で選択したような力を持った職員が期待できるため